



## 2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東  
コード番号 7030 URL <https://sprix.inc/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常石 博之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 平井 利英 TEL 03(6416)5476  
定時株主総会開催予定日 2024年12月26日 配当支払開始予定日 2024年12月27日  
有価証券報告書提出予定日 2024年12月26日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期の連結業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	31,860	4.9	1,093	△17.0	1,134	△14.0	500	△10.9
2023年9月期	30,363	3.4	1,318	△52.6	1,319	△52.6	561	△65.1

(注) 包括利益 2024年9月期 499百万円 (△10.5%) 2023年9月期 557百万円 (△65.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	28.69	28.37	5.2	5.6	3.4
2023年9月期	32.51	31.89	5.8	6.6	4.3

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 35百万円 2023年9月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	20,448	9,562	46.5	545.72
2023年9月期	20,143	9,706	48.0	558.76

(参考) 自己資本 2024年9月期 9,517百万円 2023年9月期 9,662百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	1,877	△1,533	△991	5,359
2023年9月期	1,676	△1,354	△249	6,007

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	-	19.00	-	19.00	38.00	654	116.9	6.7
2024年9月期	-	19.00	-	19.00	38.00	659	132.5	6.9
2025年9月期(予想)	-	19.00	-	19.00	38.00		78.0	

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	6.7	1,600	46.3	1,600	41.1	850	70.0	48.74

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）株式会社イングリッシュスクエア、除外 1社 （社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年9月期	17,778,150株	2023年9月期	17,633,250株
2024年9月期	337,085株	2023年9月期	341,085株
2024年9月期	17,431,757株	2023年9月期	17,276,331株

（参考）個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	19,340	24.3	1,003	2.8	1,313	44.8	915	76.7
2023年9月期	15,565	7.9	975	△49.9	906	△53.5	518	△57.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期	52.53	51.94
2023年9月期	30.00	29.43

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2024年9月期	15,760	9,495	9,495	9,495	60.0	541.90	
2023年9月期	14,565	9,222	9,222	9,222	63.0	530.81	

（参考）自己資本 2024年9月期 9,451百万円 2023年9月期 9,178百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当期末日現在において判断したものであります。

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果が奏功し、堅調な回復が続くことが期待されますが、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの属する教育サービス業界におきましては、少子化が進むなかで、様々な教育制度改革が進行しております。また、あらゆる産業でアナログからデジタルへの転換、サービスの在り方が見直されるなか、IT技術の活用等による新たな教育・指導形態の必要性も一層高まってきております。

当連結会計年度の売上高は31,860百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は1,093百万円（前年同期比17.0%減）、経常利益は1,134百万円（前年同期比14.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は500百万円（前年同期比10.9%減）、EBITDA（＝営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費）は2,249百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

セグメント情報は次の通りです。

## 「森塾」

中核事業である個別指導形式の学習塾「森塾」におきましては、当連結会計年度末において229教室（前年同期比20教室増）展開しております。生徒数が堅調に推移した結果、当連結会計年度末における「森塾」在籍生徒数は55,357人と、前年同期比6,268人増となりました。

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期末比
売上高（注1）	15,530百万円	16,315百万円	5.1%増
セグメント利益（注1、2）	3,725百万円	3,925百万円	5.4%増
EBITDA（注3）	3,948百万円	4,074百万円	3.2%増
教室数	209教室	229教室	20教室増
生徒数	49,089人	55,357人	6,268人増

注1）売上高は外部顧客への売上高、及びセグメント利益は、セグメント間取引の相殺前の数値であります。

注2）セグメント利益は、のれんを除く無形固定資産の償却費を反映しております。

注3）EBITDAは、営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費であります。

## 「湘南ゼミナール」

集団指導形式の学習塾「湘南ゼミナール」におきましては、当連結会計年度末において203教室（前年同期比7教室増）を展開しております。2024年春の合格実績は前年に引き続き回復し、小学生のコンテンツ拡充およびマーケティング強化により、主要コースである総合進学コースを含む小中部の小学生の生徒数、および来年度の生徒数に直結する中学2年生以下の合計生徒数は前年同期比で増加したものの、当連結会計年度末における「湘南ゼミナール」在籍生徒数は18,179人（前年同期比54人減）となりました。

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期末比
売上高	8,798百万円	9,086百万円	3.3%増
セグメント利益	745百万円	679百万円	8.9%減
EBITDA	1,083百万円	1,072百万円	1.1%減
教室数	196教室	203教室	7教室増
生徒数	18,233人	18,179人	54人減

## 「河合塾マナビス」

講義映像とチューターを用いた大学受験指導を行う学習塾である「河合塾マナビス」におきましては、当連結会計年度末において株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして51教室（前年同期比1教室増）を展開しております。全学年の生徒数が前年同期比で増加した結果、当連結会計年度末における「河合塾マナビス」在籍生徒数は5,216人（前年同期比359人増）となりました。

	前連結会計年度	当連結会計年度	前期末比
売上高	3,106百万円	3,121百万円	0.5%増
セグメント利益	312百万円	273百万円	12.3%減
EBITDA	480百万円	496百万円	3.4%増
教室数	50教室	51教室	1教室増
生徒数	4,857人	5,216人	359人増

## 「その他」

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。

「自立学習RED」は、教育ITを利用した学習塾であり、当連結会計年度末において直営6教室（前年同期比増減なし）、FC215教室（前年同期比18教室増）を展開しております。

また、「その他」に含まれる教育関連サービスにおきましては、個別指導用教材「フォレストシリーズ」、ICTを活用した映像教材「楽しく学べるシリーズ」、塾講師募集webサイト「塾講師JAPAN」などの既存事業がいずれも堅調だったことに加え、AIタブレットで基礎学力を養成する「SPRIX LEARNING」「DOJO」や、サイバーエージェントグループと協業中の「キュレオプログラミング教室」「プログラミング能力検定」などの新規事業も順調に拡大しております。さらに、投資フェーズではありますが、国際基礎学力検定「TOFAS」の受験者数は累計1,200万人となり、順調に推移しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における総資産は、20,448百万円（前連結会計年度末比304百万円増）となりました。主な要因は、建物及び構築物が322百万円増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当連結会計年度末における負債は、10,886百万円（前連結会計年度末比448百万円増）となりました。主な要因は、前受金が326百万円増加したことなどによるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、9,562百万円（前連結会計年度末比144百万円減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円により増加したものの、配当金の支払いにより659百万円減少したことなどによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、5,359百万円（前連結会計年度末比648百万円減）となりました。主な要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果として得られた資金は、1,877百万円となりました。これは主に、減価償却費753百万円、のれん償却額373百万円、前受金の増加額326百万円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果として使用した資金は、1,533百万円となりました。これは主に、有形および無形固定資産の取得による支出1,191百万円、敷金及び保証金の差入による支出205百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果として使用した資金は、991百万円となりました。これは主に、配当金の支払額659百万円、長期借入金の返済による支出298百万円などによるものであります。

#### （4）今後の見通し

当社グループが軸足を置く日本国内の教育サービス市場は、少子化による学齢人口の減少、サービス提供におけるICT化の拡大などを背景として、競争が激しさを増している状況です。

当社グループにおける学習塾サービスは、個別指導の「森塾」、「自立学習RED」に加え、株式会社湘南ゼミナールが運営する集団指導の「湘南ゼミナール」、大学受験指導の「河合塾マナビス」他、2021年よりサービスを開始したオンライン個別指導の「そら塾」等、マーケットの多様なニーズに応じたサービス展開が可能となっております。

「森塾」については、2025年9月期には「森塾」全体で20教室新設する予定で、2025年9月末にグループ全体で249教室となる見込みです。在籍生徒数については、関西地区への更なる開校により堅調に推移する見込みであり、さらなる展開を図ってまいります。

2025年9月末の「湘南ゼミナール」の教室数は207教室、「河合塾マナビス」の教室数は53教室となる予定です。

「自立学習RED」については、株式会社明光ネットワークジャパンとの連携を強化し、積極的なFC展開を進め、年間30教室の増加を目指し、2025年9月末の教室数はFCと直営を合わせ241教室となる予定です。

また、「そら塾」については、オンライン個別指導No.1のタイトルを獲得した知名度を生かし、更なる生徒獲得を見込むものであります。

2022年6月に事業譲受した「和陽日本語学院」については、わが国における少子高齢化による労働力の不足、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限の緩和による外国人留学生数の回復を踏まえ、ブランド力の向上や、当社グループのスクール運営ノウハウとの融合等に取り組んでまいります。

教育関連サービスにおいては、「フォレストシリーズ」の販売は引き続き堅調に推移すると思われることに加え、国際基礎学力検定「TOFAS」を中心とした基礎学力事業においては、2025年9月期での収益化に向け、引き続き研究開発費の投下を見込んでおります。

「東京ダンスヴィレッジ」は、「池袋校」「新宿校」に続き、2023年9月に「渋谷校」を新規開校しており、更なる事業拡大を図ります。

また、子会社である株式会社プログラミング総合研究所における「プログラミング能力検定（プロ検）」でのサービス開発や、EdTech領域での研究開発も、収益化に向けて引き続き推進してまいります。

これらによって、2025年9月期連結会計期間における当社グループの業績は、連結売上高34,000百万円（前期比6.7%増）、連結営業利益1,600百万円（前期比46.3%増）、連結経常利益は1,600百万円（前期比41.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は850百万円（前期比70.0%増）を見込んでおります。また、当社が重要な指標と考える、EBITDA（＝営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費）は、2,800百万円（前期比24.5%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適正に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,007	5,359
売掛金	381	374
商品及び製品	297	326
仕掛品	45	66
貯蔵品	24	26
未収入金	2,430	2,619
その他	757	1,082
貸倒引当金	△37	△48
流動資産合計	9,906	9,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,268	3,591
土地	450	489
その他 (純額)	108	160
有形固定資産合計	3,828	4,240
無形固定資産		
のれん	2,496	2,183
ソフトウェア	207	173
その他	927	746
無形固定資産合計	3,631	3,103
投資その他の資産		
投資有価証券	20	276
繰延税金資産	605	727
敷金及び保証金	2,044	2,045
その他	107	246
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,777	3,297
固定資産合計	10,237	10,641
資産合計	20,143	20,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103	150
未払金	1,543	1,468
短期借入金	754	717
1年内返済予定の長期借入金	363	363
未払法人税等	171	418
未払消費税等	200	452
前受金	4,264	4,590
賞与引当金	441	440
その他	700	618
流動負債合計	8,543	9,221
固定負債		
長期借入金	727	429
役員退職慰労引当金	73	75
退職給付に係る負債	124	127
資産除去債務	968	1,032
繰延税金負債	0	—
固定負債合計	1,893	1,664
負債合計	10,437	10,886
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,438	1,444
資本剰余金	1,428	1,434
利益剰余金	7,173	7,013
自己株式	△380	△377
株主資本合計	9,659	9,516
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	2	1
その他の包括利益累計額合計	2	1
新株予約権	44	44
非支配株主持分	—	—
純資産合計	9,706	9,562
負債純資産合計	20,143	20,448

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	30,363	31,860
売上原価	20,495	21,928
売上総利益	9,868	9,932
販売費及び一般管理費	8,549	8,838
営業利益	1,318	1,093
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	—	35
業務受託料	—	1
助成金収入	2	0
受取賃貸料	2	2
受取手数料	2	—
その他	1	15
営業外収益合計	9	56
営業外費用		
支払利息	5	8
支払手数料	—	0
その他	3	7
営業外費用合計	9	15
経常利益	1,319	1,134
特別利益		
固定資産売却益	—	17
新株予約権戻入益	—	4
特別利益合計	—	22
特別損失		
固定資産除却損	—	16
関係会社株式評価損	4	—
減損損失	120	126
解約違約金	75	—
特別損失合計	200	143
税金等調整前当期純利益	1,118	1,013
法人税、住民税及び事業税	715	635
法人税等調整額	△158	△121
法人税等合計	557	513
当期純利益	560	500
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△0	—
親会社株主に帰属する当期純利益	561	500

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益	560	500
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△3	△1
その他の包括利益合計	△3	△1
包括利益	557	499
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	558	499
非支配株主に係る包括利益	△0	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,431	1,421	7,266	△385	9,734
当期変動額					
新株の発行	6	6			13
剰余金の配当			△654		△654
親会社株主に帰属する 当期純利益			561		561
自己株式の処分		0		0	0
譲渡制限付株式報酬				4	4
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	6	6	△92	4	△74
当期末残高	1,438	1,428	7,173	△380	9,659

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	5	5	33	0	9,774
当期変動額					
新株の発行					13
剰余金の配当					△654
親会社株主に帰属する 当期純利益					561
自己株式の処分			△0		0
譲渡制限付株式報酬					4
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△3	△3	10	△0	6
当期変動額合計	△3	△3	10	△0	△68
当期末残高	2	2	44	—	9,706

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,438	1,428	7,173	△380	9,659
当期変動額					
新株の発行	6	6			13
剰余金の配当			△659		△659
親会社株主に帰属する 当期純利益			500		500
自己株式の処分					
譲渡制限付株式報酬				3	3
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	6	6	△159	3	△143
当期末残高	1,444	1,434	7,013	△377	9,516

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	2	2	44	—	9,706
当期変動額					
新株の発行					13
剰余金の配当					△659
親会社株主に帰属する 当期純利益					500
自己株式の処分			△4		△4
譲渡制限付株式報酬					3
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△1	△1	4		3
当期変動額合計	△1	△1	0	—	△144
当期末残高	1	1	44	—	9,562

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,118	1,013
減価償却費	841	753
のれん償却額	330	373
株式報酬費用	11	7
減損損失	120	126
固定資産売却益	—	△17
固定資産除却損	—	16
関係会社株式評価損	4	—
解約違約金	75	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△0
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	11	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	1
受取利息	△0	△0
支払利息	5	8
新株予約権戻入益	—	△4
持分法による投資損益 (△は益)	—	△35
売上債権の増減額 (△は増加)	△371	△183
棚卸資産の増減額 (△は増加)	69	△52
その他の資産の増減額 (△は増加)	△9	△107
仕入債務の増減額 (△は減少)	△32	46
未払金の増減額 (△は減少)	5	176
前受金の増減額 (△は減少)	122	326
未払消費税等の増減額 (△は減少)	49	132
その他の負債の増減額 (△は減少)	213	△26
その他	256	△225
小計	2,817	2,340
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△5	△8
法人税等の支払額	△1,135	△455
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,676	1,877
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△221
有形固定資産の売却による収入	—	46
有形固定資産の取得による支出	△751	△964
無形固定資産の取得による支出	△125	△227
敷金及び保証金の差入による支出	△482	△205
敷金及び保証金の回収による収入	4	154
長期貸付けによる支出	—	△150
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による収入	—	34
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,354	△1,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,264	1,454
短期借入金の返済による支出	△509	△1,500
長期借入金の返済による支出	△363	△298
株式の発行による収入	13	13
自己株式の売却による収入	0	—
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	—	△1
配当金の支払額	△654	△659
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249	△991
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71	△648
現金及び現金同等物の期首残高	5,935	6,007
現金及び現金同等物の期末残高	6,007	5,359

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、「森塾」、「湘南ゼミナール」及び「河合塾マナビス」の3つの報告セグメントに区分し、セグメントごとの概況を開示しております。

「森塾」は、小・中・高校生を対象とした、先生1人に生徒2人までの個別指導型の学習塾であり、中学生を対象として、定期テストで「1科目20点以上成績が上がることを保証する「成績保証制度」を導入しております。「湘南ゼミナール」は、小・中・高校生を対象とした集団指導型を主とした学習塾であり、定期テストから難関校受験対策まで独自の授業スタイルの「QE授業」を活用し様々なコースを導入しております。「河合塾マナビス」は現役高校生を対象に映像授業と「学習ナビゲーション」（対人サポート）を組み合わせた大学進学塾です。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	15,530	8,798	3,106	27,435	2,927	30,363	—	30,363
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	15,530	8,798	3,106	27,435	2,927	30,363	—	30,363
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	124	124	△124	—
計	15,530	8,798	3,106	27,435	3,052	30,488	△124	30,363
セグメント利益 又は損失(△)	3,725	745	312	4,783	△1,011	3,772	△2,453	1,318
セグメント資産	4,719	1,690	1,006	7,416	2,958	10,375	9,768	20,143
その他の項目								
減価償却費	222	338	168	729	80	809	31	841
のれん償却額	—	—	—	—	25	25	304	330
減損損失	5	79	36	120	—	120	—	120
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	210	148	88	447	365	812	2	815

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△2,453百万円には、のれん償却額△304百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,149百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント、その他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額9,768百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは現金及び預金、のれんであります。
4. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	16,315	9,086	3,121	28,524	3,336	31,860	—	31,860
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	16,315	9,086	3,121	28,524	3,336	31,860	—	31,860
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	4	4	△4	—
計	16,315	9,086	3,121	28,524	3,341	31,865	△4	31,860
セグメント利益 又は損失 (△)	3,925	679	273	4,879	△1,282	3,596	△2,502	1,093
セグメント資産	4,995	5,579	1,394	11,970	4,033	16,004	4,444	20,448
その他の項目								
減価償却費	148	392	223	764	134	898	△145	753
のれん償却額	87	132	65	285	25	311	61	373
減損損失	—	69	57	126	—	126	—	126
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	260	137	87	485	54	539	383	923

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△2,502百万円には、のれん償却額△61百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,440百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント、その他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額4,444百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは現金及び預金、のれんであります。
4. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
5. 当連結会計年度より、調整額に含めておりましたのれん償却額を各報告セグメントに配分しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	その他(教育 関連サービス)	合計
外部顧客への売上高	15,530	8,798	3,106	2,927	30,363

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への連結売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

売上高が連結損益計算書の売上高の10%以上となる単一の外部顧客が存在しないため、該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	その他(教育 関連サービス)	合計
外部顧客への売上高	16,315	9,086	3,121	3,336	31,860

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への連結売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

売上高が連結損益計算書の売上高の10%以上となる単一の外部顧客が存在しないため、該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	森塾	湘南ゼミナール	河合塾マナビス	その他	合計
減損損失	5	79	36	—	120

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	森塾	湘南ゼミナール	河合塾マナビス	その他	合計
減損損失	—	69	57	—	126

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	25	304	330
当期末残高	—	—	—	227	2,269	2,496

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	その他	全社・消去	合計
当期償却額	87	132	65	25	61	373
当期末残高	605	917	451	201	7	2,183

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当期償却額及び未償却残高は「和陽日本語学院」のものであります。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	558.76円	545.72円
1株当たり当期純利益	32.51円	28.69円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	31.89円	28.37円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	561	500
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	561	500
普通株式の期中平均株式数(株)	17,276,331	17,431,757
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	334,687	198,408
(うち新株予約権(株))	(334,687)	(198,408)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。